

新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の学びの保障について

臨時休業中(4・5月)の学びの保障

○教科書等を活用した家庭学習

学校が作成した指導計画に基づいて、教科書を踏まえた課題や学習支援ソフトを活用した課題をはじめとした各種教材等を各校で配布し、家庭学習として取り組ませた。その際、各学校が学習計画を立てたり、自分で計画を立てさせたりしながら学習の習慣づけを行った。また、課題を回収し、点検、確認し次の課題へとつなげた。

○授業等の動画配信

各校で作成した授業等の動画をアップし、ホームページで公開した。また、ホームページには学習支援サイトを掲載した。



○ホームページの活用

(学習支援サイトのリンクの貼り付け等)



○電話、個別訪問、配信メール等の活用

登校する時間を分けたり、昇降口に提出ボックスを設けたりしながら、課題の配布、回収、点検を行い、学びを進めた。

○校庭開放

平日の午前と午後2回に分けて校庭を開放し、子どもたちの運動する機会を提供した。

現在のコロナ禍における学び

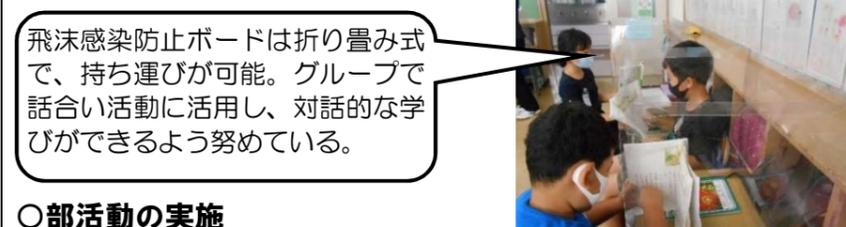
○web会議システムを活用した朝会等の実施

児童生徒の三密を避けるため、web会議システムや校内放送を活用した朝会を実施している。また、校内研修もweb会議システムを活用している。



○飛沫感染防止ボードを活用した対話的な学び

マスクの着用、子ども同士一定の距離を保ちながら、活発に話し合う姿が見られ、教室に活気が戻りつつある。



飛沫感染防止ボードは折り畳み式で、持ち運びが可能。グループで話し合い活動に活用し、対話的な学びができるよう努めている。

○部活動の実施

感染状況を見ながら、徐々に部活動を開始。7月には、3年生最後の代替大会を実施した。9月30日からは、新人戦を実施し、10月には、駅伝大会も実施した。

○授業時数の確保

長期休業期間の短縮やサタースクール半日から1日の実施、行事の見直し等による授業時数の確保に努めた。学校行事として日帰りの修学旅行や規模を縮小しての運動会の代替行事を行っている。

○児童生徒一人一人にアカウントを発行し学習用アプリケーションを活用した学び

学級閉鎖になった際に、オンラインで児童生徒の健康観察等を実施し、コミュニケーションの場を設けることができた。

○オンラインによる教職員研修等の実施

web会議システムを活用して初任者研修、3年次教員研修、校長会議等、様々な研修や会議を実施し、教職員がオンライン会議に慣れるよう努めている。

1人1台端末と高速通信環境による学びの変容

○個に応じた指導とグループ学習の充実

一人一人が同時に別々の内容を学習でき、理解度に応じた個別学習や個に応じた指導が可能になる。

一人一人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる。

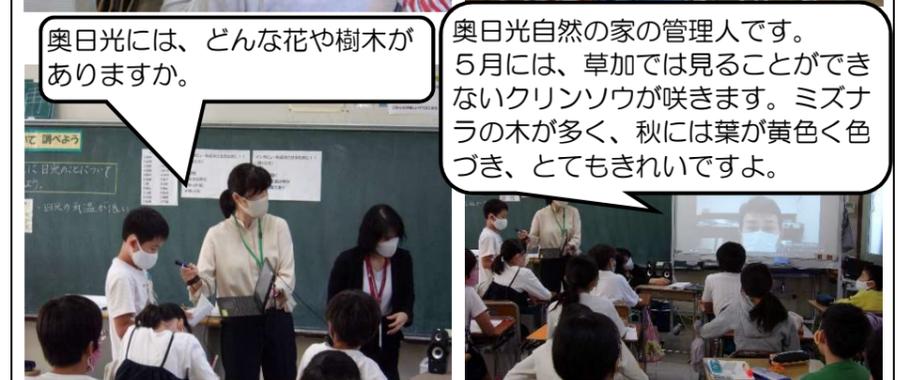


グループ学習では各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる。友達の多様な意見にも即時に触れることができる。



奥日光には、どんな花や樹木がありますか。

奥日光自然の家の管理人です。5月には、草加では見ることができないクリンソウが咲きます。ミズナラの木が多く、秋には葉が黄色く色づき、とてもきれいですよ。



○学校と家庭をつなぐオンライン授業や家庭学習等の実施

臨時休業や学級閉鎖等においてオンラインによる授業の実施や児童生徒の健康観察、課題の提示をすることができる。

また、病気や怪我等で学校に登校できない、配慮を要する児童生徒に対して、学びの機会の確保ができる。

GIGAスクール構想に基づく草加市のICT環境の整備・充実

- タブレット端末の整備 小学校1年生から中学校3年生全員に1人1台分整備
- 電源キャビネットの設置 端末を収納・充電するキャビネットを各教室に1台設置
- 学習者用アプリケーションの活用 児童生徒一人一人にアカウントを発行し、アプリを活用した授業及び家庭学習
- 無線LANアクセスポイント設置 普通教室と特別教室の各教室に1台設置
- 通信回線速度の整備 50Mbpsから1Gbpsへ通信速度のアップ
- モバイルWi-Fiルーターの購入 通信環境の整わない家庭に対する支援

電源キャビネット

1台に端末45台収納可能
(特別支援教室は12台)



無線LANアクセスポイント

各教室内に設置



タブレット端末【Chromebook】